제98호 1909. 5. 2.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

東拓人物評論（十六）

▲嶺秘書役長▼（四）　翠山

潛れ寄る泉の儲け口を事めつゝありし氏は當時實際夢現の境に彷徨し居りしもの、如かりき、百萬圓の阿堵物は鳴りを生じ今にも支配先より轉がり込むべく豫期し居らずして誰か克く彼の如き宏大なる門戸を張り体裁を飾るを得んや、而して氏の門に出入するもの日々十數人兩班あり邦人ありチャンコロあり而も各種の種類如何は知るに由なきも大方ソレと推しなば何れは不時の金儲けに飢へたる蠅蝿を打たんとする虫の良き代物等に過ぎざるなり、故を以て此等門前雀羅を張るに至らざりしも内所の遣り繰り一方ならず一觸一綻巳れが終日乘り回にす事の閑暇よりも倘ほ急はしき模樣なりしとは當時口善惡なき京童の噂したる所なり、而して氏も亦努めて種々の人物と近付きを需め、交際範圍廣く世人と交際したりきされど空權屋は到底空權屋なり蛙の子は畢竟蛙の子に過ぎず嗚を殺して轉かり込むべき筈なりし百萬圓の大金は待てども寄せども一向に音沙汰なく斯うと當てになし居りし先方の口裡は全然越中的となるのみより氏は大に落膽し巳むなく旗を卷て日本に歸ることゝはなりたるなり、而も氏は此の間空權屋の常として一進會に關係を付け二三の會員と往復して何事をか計り追つては一進會を利用してある種の要領を得んものをと謀みたることすらあり幸か不幸か此の謀みたるや土臺物にならずして破れたるも蓋し破るゝは初めより當然の事なりしなり氏は虛榮心の熾烈なる性質よりして總ゆる名士と交際ありと稱すさいふ假令ば如何なる人にても氏に向ひ君幸に某氏を知れりやと試問すれば余は能く彼れを知れり、彼れは實に余とは昵懇の間柄なりと言ひ終りて得々たるものありと乎、而も名士と銘打たるゝ人物は殆んど知らざるものなきが如しと而已ならず氏は能く名士と會見せしことを他人に吹聽するを好むで他より問はれざるに先ちて何の爲めに吹聽するにや人各々不可思議の癖あるもの哉。

而して斯かる一種不可思議の癖を有する氏は先輩の士に接しては極めて愛想好く舌滑かに觸り眼巧みに働き圓婉洒脫渾然として其の場のバツを合はすに妙を得而も翻つて先輩の士は左程に氏に重きを措かず、唯機轉の利く如才のなき人物として目するに過ぎざるのみ而して現今東拓會社にありても萬事此の遣り口にて其の部下に直隷する社員迄も亦此の風を學び居ると乎ない

文苑

●何の怨か●　青瓦生

何の怨か……一向自分には解らない、ナエ先方　奴の顔、ツヒゾ暗闇で覺ねはない勿論警察では夜を晝に次いで極力犯人の探偵に從事し居るだらうか、土臺手掛りとてはないから定めて困難だらうと思ふ、イヤ僕が意氣地無しといふ事は廢して呉れ玉へ何にさま君那の事務所の前も午前一時といふ頃だ何が顔が分るものか、二人の話は暫し時途切れた、軈て「御用」の一聲「殺人の罪を犯したのは貴様だなッ」

●歸●去●來●　くれなゐ

溫突住居の悲しさには只一坪の庭もない、僅かに南向きの家の椽側に一寸二三時間懶日が當るのみである、物心ついて以來會つて放したことのない鐵鉢にも親しむことが出來ない、如何に衣食のためとは云へ何うして僕は彼の富士の高嶺を眺め四時變つた折々の景物に憑しかられ人情淳朴なる故國郷黨に背いて春樹は離條たる韓國には渡つたのであらう、假令多少の鬱懷はあれ一切の虛僞妄念を抛つて蒙古く來の花黃に山衆に水白き故園に歸臥しようかしら、と夢なり會ねる雨の夜、人懐かしき風の夕、つく〳〵と思ひ入つたとも一度ではない、况んや此の頃の樣に吾々移住民の意を一方ならず引き立たしむる彼の優美なる統監旗をも南山麓に見る事を得ざるに於てをや

佐倉宗吾（六十九）

眞龍齋貞水講演

安「夫れに旦那樣が居らつしやらねねなら、ナアニ村方の常使するでもねねど、斯う存しまして、實は金比羅參詣と成つた上、行き當りばつたりで、木の根枕に草の肥しにでも成るべいと決心しまして、長年御厄介に成りました御新造樣に、是から金比羅樣へ詣りますで、江戸へ參つて、長年御厄介になつた旦那樣へ、一言御禮を申し上げますが、何卒か御言託かございませぬかと伺ひましたら、然うか、そんなら兎に角、之を御届けしてくれと、私を待して御置きなすつて、急いで御認めになつた御手紙、て〳〵に持參を致しました、旦那樣、之を御渡し申します　宗「然うか、安兵衛よく尋ねてくれた　安「エもう私は、冥途でまた御目に掛る覺悟でございますから、庶幾て息のある内に、旦那樣にお目通り致して、一言の御挨拶を申し上げねねおや濟まねねでございますから、此處まで伺ひました、併し旦那樣、御手紙は後で緩り御覧下さい　宗「ア然うかね、大きに御苦勞だつた、大分村方も困つた事であらうのう　安「イヤ御話しに成りませぬ、旦那樣御知らねねが、彼方ぢや旦那樣の御噂ばかりして居ります、其事を私等ハア、聞くのが辛いで、此度こう云ふ決心をしたのでございます　宗「何んな事を申してゐる　安「旦那樣ハア、養子の身の上でありながら、江戸表へ願ひ事なんて行つて况から、益す取立が厳しく、役人にや憎い眼に遇はされる、是と云ふも何人のためだ、皆な宗吾どんが悧口振て行つたから、此樣な難儀するぞと云つて、旦那樣の心持、推量する者がねね、寄ると觸はると斯う云ふ噂でございまして、私はハア聞くのも辛うございますから、それで金比羅樣へ參詣する覺悟に成りました、旦那樣、誠に御苦勞甲斐のねね事でございます、貴下樣の御胸の内、安兵衛御察し申します」ポロ〳〵流れる涙を、手拭で拭ひ〳〵話しをする　宗「ア、然うか、イヤ爾う云はれても是非に及ばない、此度の願ひが屆かぬ以上は何ども申し譯がない、安兵衛、何しろ其内に、國方も穏かに成るやう、御上の思召もあらうから、金比羅樣へ參詣をしたら、戻つて來いよ、ム、是は誠に些少だが、お前に眞の寸志　安「イエ勿体ない、斯うして江戸へ出さつして、何もかも御不自由をして居らつしやる旦那樣に、鐚一文でも頂く心算で參つたのでございませぬ、もう〳〵長年御恩を蒙つて居りますから、[illegible]は御無用でございます　宗「マア爾う云はないで、是は金比羅樣の御初穂に一つ上げてくれ　安「イエ勿体ねね……　宗「これや安兵衛、そりやいかぬ、持つて參れ　安「ア、どうも之を頂きましちや濟まねねが……、んぢや旦那樣、いつまで此處で御話し申しても御別れの出來る事でございませぬから、思ひ切つて御別れを告げます、隨分貴下樣、御身を大切に遊ばしますやう　宗「安兵衛、途中氣を注けて、煩はぬやうにしてくれよ　安「ハアー有難う存じます」と、初めて顔を上げて宗吾の顔を熟と見詰め、ポロ〳〵涙を流し　安「御免なさいよ」と一生懸命、思ひ切つて此場を駈出す、其後ろ姿を見送りました所の宗五郎、頓て安兵衛の姿が見えなくなると、下俯向いて　宗「ア、鄕國の百姓一同が、今は此宗五を怨むやうになつたか」と、そこで宗五郎は御門を入つて、自分の部屋へ歸り、積み了りたる女房美禰の手紙を前に置き、腕こまぬいて暫くの間考へてゐる、概略郷國の狀態も、此手紙の内に含んでゐる　宗「ア、何うしたものか知らぬ、斯りや逆もゝう、生きて國表へ還る事は出來ない、寧の事、國表の役人共の惡事の數々を認めて、之を啣いて、淺草堀田原の御上屋敷の御門の扉へ寄り掛り、立願を播切つて相果てやう、爾うしたならば、御親類方の御耳にも入り、御親類方から堀田樣へ厳しく御掛合になつて、國表の惡役人は御調べを蒙り、領分百姓が、安泰に月日を送るやうに成れば、此宗五が死んだ甲斐があると云ふものだ」と覺悟を致しました

京城新報

日英博覽會

●●●觀覽團隊を組織せよ●●●

來年五月一日より英國倫敦に於て開設せらるゝ日英大博覽會は其設備着々歩を進め、出品部類の如き殆ど十有八の多岐にして、教育美術心藝機械電氣車輛軌道農業林業狩獵工業殖民等其他社會に存する總ての者を網羅して備らざるなし、惟ふに開設の曉に於ては世界の注意を惹き觀覽者に多くの智識を與ふると共に世界の生產業に貢獻する所も亦大なるべし、英國に於ても之に重きを置き其總裁には去る三十九年我　聖上陛下にガーター勲章を御贈與の爲め來朝せられたるアーサー、オブ、コンノート殿下を奉戴するに至れり、之を以て見るも英人が如何に此博覽會を重要視するやを知るに足らむ、從て其設備の雄大壯美は推して知るべき也、帝國は此出品に依りて帝國が啻に軍事に雄なるのみならず、其文明進歩の實績を世界に知らしむるに大なる効あらむ、而して此博覽會の紹介に依りて我貿易の發展を見るに至るべし、帝國の保護に浴しつゝある韓國も此博覽會を利用して開發に資する所なかる可らず、韓國よりも產物を出品するとの事なれども文化の程度尚ほ低くして到底世界の視聽を惹くに足るものなかるべしと雖も、韓國を世界に紹介するの利益あらん、而して之を機會に觀覽團隊を組織して歐羅巴文明の光に浴せしむるに於ては國運の開發に資する所蓋し鮮少ならざらん、唯日本を一巡觀覽せしめたる位にては頑冥固陋なる渠等には眞に文明を解すること能はず、日英博覽會の開設を機會として更に一歩を進め歐羅巴の文明を觀覽せしめば必ずや世界の大勢を悟り進取の精神を發揮するに至るべき乎、歐羅巴觀覽は啻に渠等の見聞を廣むるのみならず渠等の爲めに世界的思想を鼓吹する利益あり、我保護政府も韓國政府も之に便宜を與へて可及的多數の觀覽者を派遣せしむ可し、余輩は韓人のみならず在留邦人も此際に出品物中に殖民部あるを以て韓國經營に從事する者に對して必ずや參考となるべきもの多からん、元來韓國の開發は我帝國の指導に依らざる可らざるも、最も直接に指導の任に當るものは在留邦人なれば、在留邦人は自己の經營をなすと共に韓人指導の任に當るもの也、其任の重きと共に殖民事業の智識を要す、日英博覽會は此智識を得るの好機會ならん、其途を西比利亞線路に依るとせば其東亞より露國の東亞殖民の實況を目擊するを得べし、廣漠たる東亞殖民に幾多の殖民資況を見て如何に雄大なる施設をなしつゝあるかを見ば韓國の經營に資する所鮮少ならざるべし、余輩は何れの點より見るも觀覽團隊を送ることの韓國開發の爲に利益あるを信ずるもの也

東京電報

▲韓太子の參内

韓太子には本日伊藤太師と同乘高東宮大夫並觀光の爲め來京中の閔泳韶以下六名を隨へ參内我　天皇陛下に御對顏あらせらる　陛下には其御序を以て一行にも謁見仰付けられたり(四月三十日夜發)

外報一束

●米移民人頭税

米國關税率修正案は移民に人頭税十二弗を課することを規定せり

●土耳其帝廢位

土耳其國皇帝アブダル、ハミッド陛下は遂に廢位せられたり

●新帝の即位式

去月二十八日午後土耳其國新皇帝レシャッドエッフエンヂ陛下(廢帝の實弟)の即位式を擧げ百一發の皇禮砲を放ちたり

●土帝の退隱所

土耳其皇帝は英領サイプラス島に退隱せんことを希望するも許可さるゝや否や疑はしと

●波斯帝の反省

波斯皇帝はタブリッズ市の國民黨と和解し憲法の發布を約したりと

●邦人車夫差止

シヤトルの田中領事はアラスカユーコン太平洋博覽會に對し日本人に人力車を曳かしむる計畫を止められたしと申込みたり其理由とする所は元來米國排日論者にして博覽會に臨むものにして邦人に人力車を曳かしむるは其主義に反すと云ふにありて結局博覽會の人力車は白人に曳かしむることゝなりたりと云ふ

●英總領事增設

英國は四川省成都府、雲南省雲南府、山東省濟南府長江筋にては宜昌、岳州、長沙、廣西省梧州の八箇所へ總領事を新任派遣したり

●露國と内蒙古

露國は哈爾賓領事館より通譯以下騎兵三十名を派し内蒙古兆南府一帶調査中なりしが急兆南府に貿易事務官を駐在せしめん事を申出でたり徐總督は露の要求を拒絶すべく哈爾賓道臺に訓令したりと

雜報

●未墾地の審査

一昨年九月國有未墾地利用法實施以來既に一ケ年を經過したるを以て農商工部に於ては愈々來月より技師を許可地に派し利用の狀況を實査せしむと尚許可後滿一ケ年を經過するも相當の理由なくして事業に着手せざる者に對しては同利用法に基き許可を取消す事あるべしと

●副統監釜山着

一昨三十日午前九時營州を出發せし曾禰副統監は昨一日午前八時五十分釜山に上陸したるが今日午後二時同地出發加德、統營、三千浦、麗水、ラロウ島、巨文島、濟州島等を經て六日午前九時木浦着の豫定なりと

◎貸付規程ご認可

東拓の貸付規程は第九條荷爲替に關する件を削除して明日其筋より認可さるべしと

●會計規則案の審査

地方費法は愈々一昨日より實施されたるに付き之れが會計規則の制定は刻下の急務なるに依り昨日午前十一時より臨時法令審査委員出席の上同案に就き種々審査せりと

◎請願書提出方法

從來一般人民にして韓國官廳に請願書を提出せんとする時は古來の習慣に依り其事件を掌る所の上級官廳に直接出頭の上請願するを常例とせるが上級官廳に於ては直接之れを處決するにあらずして所管官廳に移牒し愼重に調査せしめたる後に於て決定するを以て地方より請願の爲め態々上京したる者は空しく數日を徒費しつゝあるに依り今般度支部は同部に關する請願書の一切は一先づ所轄官廳に提出し尙必要と認むる時は住所姓名を名記して郵便を以て同部に呈願すべき旨を訓令したりと

●刺客洪鍾宇と暴徒

明治三十七年三月の頃日本黨の金玉均を上海の東和洋行に於て殺害したる當時の刺客洪鍾宇は近來木浦附近に住居する由なるが頃日京城に來りて數日間滯在し三十日仁川に下り木浦丸に搭じて歸省したるが同地附近の暴徒は屢々其の宅に到りて暴徒たるべしと勸誘したるも洪は時勢に感ずる所ありてこれに應せず京城へ來りし後は斷髮したる由にて今後は木浦日本人街に住居すべしと云ふ

◎暴徒鎮壓ご巡邏船

先日の紙上に於て報じたる如く木浦附近を始め其他の沿岸に於ては暴徒の猖獗益々甚しく漁民の迷惑一方ならざるに就て内部は關稅局に交涉して蒸滊船を借り入れたる故近日江華島方面より延平列島へ派遣すと云ふ

●東拓監事の入京期

東拓會社の監事松平子爵及野田卯太郎氏は昨夜の聯絡船に搭乘せし筈なれば本夜南大門へ到着する筈

●荒井次官の歸任期

兼て上京中なる度支部次官荒井賢太郎氏は本月十日頃歸任の筈なり

●李鳳來昨夜歸京

兼て上京中なりし漢城美術品製作所長なる李鳳來は昨夜南大門着の滊車にて歸城せし筈なり

●光緒帝の遙奠式

昨一日は淸國光緒皇帝及西太后の大葬當日なるを以て在留淸國官民一同は午前八時より在京城同國總領事館に參集して遙奠式を行ひたるが石塚長官代理事務取扱鍋島外務部長、池邊副理事官本田、鳥居、前間、三通譯官及各國領事は同總領事館を訪問して弔詞を述べたり何遇事廳及各國領事館に於ても各半旗を揭げて弔意を表し又馬總領事は在留淸國官民に鳴物一切を禁止したりと因みに馬總領事は來る三四日頃答禮として各國領事館及各官廳を訪問すべしといふ

●一般航海者へ注意

韓國南岸下鳥島燈臺の霧笛は破損したるを以てこれが修繕中吹鳴を停止すべしと

●赤間氏の送別會

東亞實業株式會社京城支店長赤間嘉之吉氏は今回長春支店長に轉任したるより氏の知人相圖り一昨夜午後六時より花月に於て送別會を催したるが來會者約七十名最初熊谷民團長の送別の辭あり次で赤間氏の挨拶あり終つて宴に移りたるが散會せしは午後十一時頃なりし

●勝田局長の着期

大藏省理財局長なる勝田主計氏は經濟狀況視察の爲め入京すべしとの事は既報の如くなるが其の一行として同行せるは書記官田昌、屬普谷幸一郎、同渡邊知敬の三氏にして本月三日午後三時三十分新橋發韓國へ直行の筈なりと云ふ

●血精注射ご感謝

昨年より本年に亘り咸鏡北道に於て流行したる牛疫に對して其筋にては豫防及治療の爲め血精を應用せしことは既報の如くなるが其效果頗る良好なるより之れか注射を希望する者非常に多く其の要求に應じ得へからざる程の情況なる由にして人民は感謝の意を表し居れりと

●白銅貨整理額

●●●●●●●●●●(今月限り通用絕對禁止)

韓政府が通貨の本質を辨せず只管鑄造益金を得んが爲め補助貨たる舊白銅貨を濫發し一時其聲價二分の一以下に低落し財政及經濟上に甚しき惡影響を及ぼしたる事は世人の知悉せる所なるが去る明治三十七年目賀田氏韓國財政顧問として赴任以來貨幣整理の第一着手として之が一掃に努め白銅貨引上げ開始以來客月中旬迄に政府に回收したる額は合計三億七千四百○二萬九千余枚此の價額九百○七萬六千餘圓の巨額に達したり今其の內譯を示せば左の如し

	枚數	金額
納税	兲、六二一、二五三	一、三三五、五二四
交換	一六九、二六六、七八〇	四、二〇五、二〇二
買上	一三〇、九〇三、四三九	二、九三八、一九二
税關引繼	四、一六一、六〇一	一
舊貨引上	一三、〇五五、九六三	五七六、六四九
合計	三七四、〇二九、〇三六	九、〇七六、六一七

尙該貨は昨年十一月限り一般市場に於ける流通を禁し后六ケ月間丈納税に限り通用せしめ居たるが本月を以て其期限滿了するに付き同貨所持者は今月中に新貨と交換の手續を爲すべしと

●東拓總裁の宣言

地方韓人中には東洋拓殖會社設立の本旨を誤解し種々の取沙汰を爲すものあるに就き宇佐川東拓總裁は今回左の宣言書を印刷に附し各道民に布知する由

我東洋拓殖會社の目的は韓國產業の改良發達を計り民力を涵養して其富源を開展し日韓兩國經濟的の發展を促進し以て相互の福利を增進せんとするに在り然して此目的を達するには先づ韓國農業の改良進歩を要するを以て或は模範場を設置し或は水利の便利を開き樹苗を培養し以て植林事業の發達を容易ならしめ或は農業に經驗ある日本農民を移住せしめて實地の模範を示す等總て農事改良に資するの道を講究すべし又一方に於ては金融機關を設け以つて殖產林業の資本を供給せんが爲め或は田水田或は農產物其他物資を抵當として貸付を爲す等苟も一般產業の改良進歩を計るに必要なる方法は漸次之が實行を期すべし又會社が自ら經營すべき田水田に付ては先づ韓國政府より提出すべき地所を以て之に充つべきも從來の小作人に對しては依然其の契約を繼續すべきを以て其間何等特別の理由なく又從來の產業を失ふ虞なきのみならず誠實勤勉なるものに對しては我會社は相當の保護獎勵を加ふべきに依り小作人等は各其堵に安んじ其業に勵むを要す又我會社が事業擴張の必要上耕地の買收或は借地を爲す時には豫め其所有主と相當代價を協定したる上其契約をなすものなれば所有主の承諾なきに猥りに其權利を侵害する如き事なきは固よりなり且我會社に於て拓殖上の必要を認むる時は韓國人の移住を計る事あるべきも此は其希望に應じ實行すべく決して强制すべきにあらざれば此の點に就ても又杞憂を要せざるなり要之我東洋拓殖會社の事業は日韓兩國の法律に遵ひ且兩國政府の監督を受け其經營を行ふ者にして韓國の經濟的發展を計り其の國の利益と民福の基礎とを確立せんとするに在り今や事業開始に當り特に我會社經營の方針を明示する事此の如し大方の諸賢如上の趣意を照諒せられん事を

●釜山滊船出願事項

釜山滊船會社が沿岸航路を開きてより釜山及び沿岸の開發に對して寄與する所少からざるが該社が其實驗に基きて其筋に出願中の件は補助金交附の件及び寄港地變更等の件なるが何れも都合よく進行し遠からず決定さるべしと

●南浦港第六回調査

鎭南浦にては五月一日よりは第七回運河水路部の調査に掛かりしが今其の第六地點の地層を記せば表層一尺五寸は泥にして其以下十六尺五寸は黑色泥其以下十三尺二寸は同細砂混り其以下九尺は青色泥其以下七尺は貝殼混り砂土其以下四尺五寸は青色細砂混り其以下廿二尺八寸は薄黑き青砂丞深八十四尺五寸なりといふ

●購買費と感謝狀

元釜山婦人會の經營せし成錦女學校が高等女學校の技藝專修科となりしに付き釜山民團は之を引繼ぐと同時に同婦人會に對し校舍及び校具購求費として千三百圓を渡すことゝなりたると共に石原民長は鄭重なる感謝狀を同會に贈呈すべしと

●韓人向雜貨の下落

大邱にては每年本月中旬より來月にかけては韓人むき雜貨の賣行き尤も激甚を極むる期節なるも本年は地方金融圓滑ならざるため注文及買出しに來るもの稀にして同地韓人雜貨商は皆その不況を喞ち居りたるにこれ等雜貨は幾分の下落を見るに至りたりと

●忠南道公州の發展

公州は昨年公州地方裁判所新設開廳以來多大の發展をなし目下在留日本人約八百人以上なり昨年の今日と比較せば三百七十人の增加をなしたり現に群山、江景及太田、鳥致院又は内地より轉居する者每日四五人有り公州警察署の調査に依れば去る三月より今日迄各方面より轉居せし者八十三人なりと

●學部次官の訓示

今回漢城府及各道觀察府の各日本人主事は内部次官の訓示を受け更に前月廿七、八、九及昨一日に亘りたる四日間俵學部次官より韓國教育の沿革、現狀及び官公私立各學校の狀況並に將來事務監督の方法心得等に就き詳細懇篤なる訓示を受けたり尙各主事は三日間滯在事務の取調を爲し四日夫々赴任すべし因に今回赴任の主事は總員九名にして職員九名は近く日本より來任する筈

●學部大臣の招宴

學部大臣は來る三日午後六時より内部大臣、同次官、地方局高等官一同及今回新任の學部主事並に學部高等官を京城ホテルに招き晚餐會を開く由

●慶山博愛會の設立

慶南道慶山の有志二十余名は今回博愛會なる團体を組織し同地發展に資する目的にて先づ同驛前より河陽に通ずる道路改修を計畫する事となれり

●道書記官々舍新築

本年度に於て新築さるべき四所の道書記官々舍は過般來内部に於て建築すべき道の撰擇中なりしが此程略決定したる由なれば設計圖を回付して之れが新築に着すべしといふ

●第五回學部幼々會

幼々會は今二日午前十時半より西小門外なる故スチーブンス氏舊邸内に於て第五回を開會する筈來會者は會長俵次官以下各課長其他同會員及其家族約百八十名にして午前午后の二回に模擬店を開き其の餘興には筑前琵琶、義太夫、手品及會員の謠曲、奏樂、兒童の遊戲等の餘興ある由なりと

●京大出身の研究會

在京城京都帝國大學法科大學出身の組織に係る法律研究會は會員の都合に依り一時開會したるも愈々來週より再び開會することゝなりたるが開會日は每週水、金の兩曜にて目下は主として民法商法及行政法を研究すべき筈なりと尙同會は會員以外と雖も洽ねく同志の來會を歡迎する由にて之等のものは會費を要せざるべしと

●李學相の花見宴

李學部大臣は今二日東大門內なる別邸に各大臣及其他を招待して花見の宴を催すべしと

●京城高女の遠足會

民團立高等女學校に於ては昨日職員及生徒一同奬忠壇に遠足したりといふ

●電通主任の交代

前項廣告欄の通り從來同社の主任たりし能島進氏は今回同社を辭退せしを以て元京城日報記者牧山耕藏氏は東京の電通本社より派遣され其の後に代ることゝなりたり

本日の集會

▲京城基督教會　日の出町の同教會にては午前九時より日曜學校同十時より大塚棄氏の「天來の感化」午後八時より米澤牧師の「愛の聖化」と題する說教あり

▲京城日本基督教會　旭町四丁目の同教會にては午前九時より日曜學校同十時よりコルテス宣教師の禮拜說教午後八時より橋本氏の傳道說教あり

公人私人

▲川上常郎(大邱財務監督局長)　三十日入京三日月旅館

▲板東榮次郎(忠北警察部長)同不知火旅館

▲木原方吉(佐賀縣水產組合技師)　三十日退京仁川へ向ふ

近事片々

▲一時は事實らしく噂された統監更迭說は側により流となる借も世は儘ならぬ

▲剩さへ伊公の留任說が却て與らしく傳はる果して事實ならば統監政治の前途如何

▲留任說の理屈が面黑い三年有半の指導にて着々實行統監常任の必要なしとウフ、

▲三年有半の施設はホンの輪郭丈けで實質事業は擧らざるに常任の無必要とは呆返る

▲斯くても伊公を留任せねばならぬ必要何處にある恐らくは辨り場所なき爲なる乎

▲歸る々々と掛聲のみ高き李容九未だ東京邊に迷誤付居るか例の金件は始何にせし

▲伊公には振付られ會員よりは迫られ二進も三進も動かれぬ茲進退維れ谷まる姿乎

▲一進會員等朱首領に歸國を迫り今や宋氏の歸國旅費を募集中なりとは事實なる乎

▲東京より持て歸る可き筈の者が却て此方で醵金せねばならぬとは世事萬端如斯也

▲英獨海軍擴張競爭は益々熱度を高む獨逸の製艦力は意外に大也英國の騒ぐ理り有也

▲獨逸はドレットノー型を一年間に能く十隻を建造すべしと何に掛ても甚だ棄らし

▲十年後に於ては英必ずしも海軍の覇たらず獨米の海軍頗に發展し形勢一變せんと

▲土帝アブダルハミット廢位せられ實弟レシャッド即位せんとす其變轉や亦た烈し

▲新帝即位に就て國民熱誠に歡呼す是に依て觀るも國民の憲政に對する意嚮分明也

▲列强の外交に於ては流石の獨逸も立憲派に出拔かれたる趣あり英國の立場甚好矣

▲日糖事件の露獄裡にある臼井代議士辨護を書して長谷場議長の許に送りたり

▲其趣意堂々眞個に國士の面影あり醜行ある共前非を悔るに雄なる處は賴母し

▲堀田伯爵夫人近世婦人の虛榮華奢に流るを慨慨して質素なる國國生活をなすと

▲近來女性の虛榮心騷奢淫華の風滔々として底止する所を知らす夫人の慨慨理あり

韓太子の臨場

▲ランムソン提督

▲名譽社員奉戴

제98호 1909. 5. 2.

▲韓太子の臨場 韓太子は三[…]井呉服店に開催中の兒童博覽會に臨まれたり

[…]ムソン提督以下今[…]

雙影(四)

南船北馬樓主人

第一章 誤解(四)

「君子姐さん、まだ起きなくつて……。」

「わ、花ちやん、妾今日は何だか頭痛がして仕ようがないから、最少し寢かして貰つてよ。」

「さう。」と可愛い十二三の花ちやんは氣遣はしさうに、君子の枕頭に擦寄つて、

「何なら、妾、内儀さんに爾う云つて、れ醫者でも聘んで貰ひませうか。」と云ふ。

「有難う、いゝね、それ程でもないのよ、……そして、あの、最う何時になつて。」

「十時少し廻つてゐてよ。」

「すあ、那麼になるのかねえ。」

云つてる處、へ丁々さ、階子段を上る跫音が聞えて、暫くすると、すーと靜かに襖が開いた。

「君ちやん、眼が覺めて」と仲居である。

「あゝ、姐さん。」と力無く起き直つたが、額にかゝるほつれ毛を掻き上げやうともせず、片手に輕く顏を抑ねて、

「昨夜は什うも濟みませんでした、妾、姐さんが居なかつたら眞個に困つちもう處だつたわ。」

「ホヽヽ、異逆ね。」

「だつて妾が何程事情を話したつて聞いてくれないんだもの、そして揚句の果に這麼ことを言ふのよ、あの……れ松が歸國つて了つたもんだから、れ前はそれを好い口實にして、れ松に罪を負つかぶせるんだつてさ、妾、眞個に、腹が立つて了つたよ。」

「まあねえ、だけど矢張彼の人(山田)は實があるのだよ、だもんだから、自分が欺かれたとでも思ふと、それこそ人一倍に腹を立てるんださ。」と云つて仲居は枕頭の煙草盆を引寄せてスパ〳〵と燻べ掛けたが、急に思ひ出したやうに、矢笑して、

「ホヽヽそれでも可愛らしいぢやないかね、妾が斯う斯うだから決して君ちやんの知つた事ぢやないつて云つてやつたら、熟と考へたやうにして、やがて、あゝ爾うだつたか、濟まなかつた、俺は全く誤解してゐたんだ、今更俺から謝るのも變だから、君子にはれ前からよろしく言つて呉れつて然う云つて悠然に頭を下げて謝るのぢやないかね、ホ……。」

「何故彼の位ひに云ふのに、泊まつてくれなかつたんだらふ。」

「それはね、病後ではあるし、歸らないと家で心配するんだから、後で能く爾う云つてくれつて、散々してるのを無理矢理に逆れて來たんだもの、無理はないのよ。」

▲名譽社員奉戴 成久王殿[…]中房子内親王殿下は赤十字社の名譽社員に奉戴せらる(一日發)

「だけど、彼の人、そんな氣休めを言つて置いて、全く妾に愛想を盡して歸つたかも知れないわ。」

「何に、那麼事があるもんかね、それは君ちやんれ前さんの邪推よ、あの人に限つて妾は那麼不實な人ぢやないと思ふ、いゝね眞個那麼事理の分らないやうな、野暮な人ぢやないんだもの。」

と云つてる處へ、慌しく下女のれ竹が上つて來て、

「君子さん、使が來ましたよ。」

「ね、何處から。」

「山田さんからでせう、へいれ手紙。」

默つて受取つて、氣遣はしげに、急々と封を切ると、君子は見る〳〵蒼くなつて、眉の間に雲起り、風に漂のほつれ髮、ワッとばかり咽び入つた。

……永らくれ前にもれ世話になつたが少々思ふ處があつて、君も若葉に醒めて沓手鳥、血に啼く思ひで別れる覺悟だから、今までの夢は互ひに春の夕の夢と思つて、機嫌よく諦めてくれと……。

●合せ鏡(七)

(伊豫之守殿の花較を見て) 魚遊痴史

▲掬翠樓の三幅對

▲やん茶

息も吐かずに稽古を勵み 最負の好客も笛の音曲

▲笑太郎

彈くや三味線熟達すれば いつか其名も鳴り響く

▲秀子

上達る腕前末たのもしい 節調も巧妙みに唄ふ歌

●骨董商の鑑定違ひ

▲韓人に似た度支部官吏

東亞烟草會社當地支店長より長春支店長に轉勤せし赤間嘉之吉氏の送別會は一昨夜花月に於て頗る盛大に開かれたるが主客互の挨拶等も濟みて宴に移り何れも胸襟を開いての快談となりたるが最前より床前に嚴然と席を占めたるフロック姿の紳士ありしが其容貌から態度迄如何にも朝鮮人に能く似たるを早くも着目せし京城骨董商中の目利き近藤佐五郎氏は隣席なる和田、峰岸の兩氏に向ひ彼の床前の紳士は朝鮮人なりとの余の鑑定なるが貴公達は何んと見らるゝと云へば和田氏も峯岸氏も成程朝鮮人に相違なし、されど如何なる關係より只一人朝鮮人が此席に參加したるか一應藝妓をして探索せしむべしと協議一決し座中の某妓をして之れに當らしめしに某妓復命して曰く[illegible]本語は解せらるゝもドウも口利の鹽梅が朝[illegible]鮮人らしき[illegible]持つて[illegible]紳士[illegible]は多數の[illegible]線は一齊に[illegible]に集りしが軈て近藤氏は[illegible]名刺を差出し恭々しく、私しサテ自分は骨董商近藤佐五郎と申す者なるが貴下は何れの方に候やと訪ねれば紳士は之に應じて自分は度支部の事務官平野と申す者に候以後は御心易くとの思掛けなき挨拶振に近藤氏グーの音も出ず頭を掻き〳〵座に戻り近頃に無き代物の鑑定違を遣りましたと云ふや一座の面々ドットばかりに哄笑したるは當日第一の餘興なりき

●二階で亂暴 南大門通協同組店員中丸佐市(三五)北米倉町新炭商川村勝次(二五)の兩名は昨日午前一時三十分頃本町一丁目裏飲食店長谷川精四郎方二階に於て酒醉の餘り德利及び皿コップ等を破壞し亂暴狼藉を極め居たる折柄南部署の工藤刑事が通り掛かりしかば直ちに踏込んで之を制止し損害に就ては示談を遂げしめたり

●敷島遊廓の檢梅 仁川敷島遊廓の乙種藝妓の檢梅は一昨日午後勵行せられたるが其の結果を聞くに局部の洗滌を要したるもの敷島支店に萬良、咲良、高砂樓相模、日光の四名ありたるのみにて他に別條なかりしが入院中の深川樓の文子は退院し又日進樓の龍圓は實母が病氣じやと云ふて昨日歸國

●韓人部落の種痘 仁川警察署にては天然痘豫防の爲め韓人部落は巡查を派し強制的種痘をなし居たるが去る十七日以來の成績を聞くに毎日數百名の種痘者ありて仁川府のみにて既に七千百二十三人の多きに及びたるが尚今後は附近村落にも出張して種痘をなす筈なりと

●韓女窃盗を働く 南部儲慶宮前朴姓女(三十)と云へるは去る三十日午後六時頃南大門通三丁目雜貨店村上信太郎方店頭に陳列せる洋傘一本(代一圓七十錢)を窃取し逃走したるを主人が追跡して之を捕へ會洞派出所に突出す

●撲られて泣寢入 仁川花島居住の韓人韓慶三(三十)は一昨夜十二時頃同地海岸にて何者とも知れぬ日本人に殴打せられ血塗れになつて警察署に訴へ出でたれど加害者が判明せぬので泣き寢入り

●一昨夜の新町 登樓客總數百二十二名此費消高六百二十一圓七十五錢其中皆春樓の十五人と第一樓本店の八十一圓三十八錢が最高なりしと

●天然痘新患者 本町六丁目五十一番戶藤崎良助(十八)は一昨日天然痘に罹る

二葉日記(三)

なにがし

雨後の落花地に委して紅粉褪め、暮春の[illegible]此の時[illegible]に蔵へんとす。[illegible]騎將に隱れ、[illegible]所也。[illegible]即ち漂然として[illegible]くして[illegible]好まざる所にして[illegible]の[illegible]月宮の花[illegible]星斗爛[illegible]として[illegible]地上の印影朦朧[illegible]即ち某樓に彼女を訪ふて相對して酒を酌む。室は是れ階上の一隅、窓を排せば自然の丘陵自からなる築山となりて、月影朧ろに庭面を照せば、桃李の花は不言と雖も、東髮の花輪は吾が前に開きて、喈々喃々として語るにあらずや、焉んぞ吾れ醉はざるを得ん。

(四)

醉ふて青樓に臥す、思無邪也。既に更けたり、蘭燈光幽にして夜は今や自巳の境遇の檻外に眠るものゝ如く神にも似ていと安らかに眠るなり矣、あはれ消ゆればあどなき陽炎の、果敢なき此世に何事をば夢みるぞや、吾れは惻然として寐顔を打目成りぬ、束ねたる緑の髪は誰が爲めにか擬めたる、襟留めのピン、黄金の指輪、誰が爲めにか輝やける、見れば薄化粧を施したる天女の顔ばせにこれを得意の金入歯を少しく見せて微笑を含めるは、そも何の樂しみを夢てぞ、吾れ豈に悵然たらざるを得んや。

(五)

二葉よ、二葉、吾れ汝を愛す、敢て戀と云ふにはあらざる也。

(六)

鉾を投じて仰臥すれば、軸中の蘭色正さに匂はやかに、机上一鉢の矮桃紅絢は濃かなり、知らず、彼女の夢路何れにか迴る (終)

演藝界

▲歌舞伎座 田宮、松村等の新派劇今日の替りは『五月晴』にして配役左の如し 黒川左近(松村)馬丁三造(小柳)花岡信夫(大山)遠山靜夫(藤原)書生寺田(東鄉)仲居たまつ(池田)遠山新造(篠田)中山權造(阿部)花岡ますの(高山)花岡忠右衛門(中村)松江、若葉(小堀)花岡貞夫(田宮)

▲永樂亭 岡本美根松等の源氏節今夜の語物左の如し 八百屋れ七(美根子)石童丸(美根鶴)白木屋(美根鈴)最清一代記(美根松)白井權八(美根由)

▲龍山座 竹本一昇一座の大坂淨瑠璃は頗る好人氣なるが今夜一昇の語物は攝州合邦辻合邦内の段なりと

平民文庫

▲父の淨瑠璃▼

三千世界に子を持つた親の心は皆一つさ父が淨瑠璃をかたつてをると子供『れ父さん小學世界や女學世界もその三千世界のうちですか』

捏造中傷無用のこと 小便も亦斷り申候

▲上忘れざる[illegible]一統只管に[illegible]満足に思ふ、近時裴へ[illegible]面に眺めて役[illegible]上談君[illegible]罵倒[illegible]出仕致さざるは身に差あつての事にもあらず又粹諸懈怠と云ふにもあらず構巷妓より足下を呼んで牛と云はゞ牛、馬と云はゞ馬と答ふべく候(總角生)▲其不孝には同情す其不孝には與せず(小僧)

大目付を以て内達せられたる所に依れば予が筆にかゝつて面目を損したる妓樓無賴者をかたらひ折もあらば暗殺せんと企み居る由なれば暫く此を避くべしとの儀、依之此所少時引籠りわるもの也以上(遊坂保猪太)▲本町八丁目の横藤村とか云ふ料理家にては毎夜二時頃迄も二階にて三味を掻き廻はす隣家迷惑だ少し氣兼ねをなし呉れ給へな(近所の男)▲西小門通りの日の出亭のれ末と云ふ女つちよは厭に澄まして居る餘り濟ますと此の間の事を素つ破拔くぞ(エムオー生)

▲此れは無理だ用もない人の顔を見てマサカニヤ〳〵とも笑へまいしこんな事は何うでも善いではないか(給仕)▲如何に美しい顔をして居ても其足を見せられるさ愛想の盡きるのは在京城日本婦人だ(觀足學者)▲龍山にて筑前琵琶か薩摩琵琶を教授する所ありや有らば御知らせ下さい(みよ子)▲小僧君は獨身者を非常に羨しがるゝが家族でも深山あるのですか(獨身者)▲企圖んだりな此の野郎家族があると云へば小僧坊主の癖にど破飛呼はりせんの下心よな、一天四海皆兄弟家族も此れ丈けあれば心配も少くないよエヘン(小僧)▲江戶ッ子君に申す安直で粹な料理屋と云つたら永樂町の蝶々だ(チャキ〳〵)▲近來は各所の待合に立派なる官舍あたりの奧樣方が湯の歸りだか行く道だか七ッ道具を御持參で出入りせらるゝドウかまちあひがなければ宜いが(追跡生)▲雙影の記者さん早く全快して休まずに掲載して下さい(官舍の書生)▲文房具商、藥種商等の店員は懇勞會が有つたが吾々は一月一日の外一日も休みなし花時には一日位休まして欲しいものだ(八百屋の小僧)▲崎陽日見峠の松が枝に殘月の光を病蓐れたる蒼白き顔に受けて吾が母の長へに眠りしは忘れもせぬ一年前の今月今宵鳴呼思出る事多き今宵の月よ(崎陽浪生)▲第一樓の小中將の君は拇指は癒へましたか一日も早く全快を祈ります(色男)▲多血多涙の小僧君よ予は君の潜によりて異郷千里の[illegible]師友を得し心地いたし候、文は拙くとも[illegible]せめて[illegible]妓に及ぼしたる情を幾分なりと[illegible]寫して[illegible]に呈すべし御忙しからんも敢て[illegible]

天氣豫報(自一日午後六時至二日午後六時)

南西の風晴

三十日 最高溫度 (華氏) 六二、四 最低溫度 四二、〇

新精鍛用燃料 無烟煉炭

●特色 火付善く火力耐久便利健康

●用途 瀬鐵、暖爐、竈用に適す

●周防德山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場

京城特約店 京城南大門通 電話六〇三番 巴商會

韓國一手販賣 京城太平町二丁目 和田組

▲無料紹介欄▼

人事部

清語通譯希望 當初給料望まず 氏名在社(二二一)

一年齢二十歳身体強壯高等小學校卒業家内の少き内に於て餘暇錢數授を受くべき家に下女奉公を望む 旭町一の三二九 まちだ(二二三)

被雇 甲種商業學校出身一年志願兵現役終了給料不望個人商店を望む身元確實 姓名在社(二二二)

冒險事業を求む年廿三身体頗强壯軍隊出射擊術に通ず報酬を不望(衣食に差支へなき限り) 氏名在社(二二四)

年廿才玉突ボーイに雇はれたし持點數百二十以上 龍山大島町新玉軒にて津田(二二七)

看護婦募集す志望の方は至急申込あれ 明治町惠愛看護婦會

看護婦三名入用 南山町二 松岡醫院

給仕に雇はれたし 氏名在社(二二八)

多少法律事務に心得ある事務員一人雇ひ入れたし希望者は午前九時前御越の事 明治町二の七五 岩田辨護士(二二三)

下女入用 年齢不問 **給金**働き次第 氏名在社(二三二)

弓削竹二郎君に告ぐ長谷川町森田屋洋服店へ履歴書提出あれ (一係)

雇はれたし 家族少なき家を望む十九女 (氏名在社)

十六七の**職弟子入用** 但し當地に確實なる保證人有者 明治町一丁目 衛生床(二三五)

藥局生に雇はれたし内地にて多年經驗あり醫院若くは病院を望む身元確實保證人有り 氏名在社(二三四)

年十七高等小學卒業商店又は役所の給仕に被雇たし 氏名在社(二二八)

年廿五体强壯簿記精通會社商店へ雇はれたし確實保證人あり給料多額を望まず 氏名在社(二四〇)

中等教育有り七八年判任文官奉職何れにでも雇はれたし給料望まず確實保證人あり 氏名在社(二三九)

長崎縣人**佐藤コノ** 上記の人住所御存知の方は乍御手數京城旭町一丁目池田質店迄御報を乞ふ(二四五)

各種陶器金屬書畫等の修繕に得意、相當の家に雇はれたし 氏名在社(二四四)

年三十体强血正月收一〇〇相當の品格ある處女と結婚したし 氏名在社(三四六)

物件部

賣家 大和町三丁地百餘坪の建物あり官吏向に適し風景最もよし望の方は御來談あれ 社內 矢島

貸間 旭町一丁目至極便利の場所電話附(又は賄附にても)にて二間貸したし 氏名在社(二二五)

狆子雄け本產尾中斷し從來使用中の者登難にかゝはり必ず當り御報の者へは謝禮 龍山鐵道官舍八十八號前 丸山(二三一)

來備器物を上手に修繕する家處御承知の方は本欄迄御通知被下度し 姓名在社(二三七)

貸家 若草町一溫突一間疊敷二間日本流押込二外に炊事場玄關井戸付家賃一三五〇 若草町一の一二九矢島(二四一)

貸家 若草町一溫突二間疊敷二間日本流押込付外に炊事場玄關井戸付家賃一三五〇 若草町一の一二九矢嶋(二四二)

貸家 若草町一溫突三間半疊敷一間炊事場押込付家賃一三五〇 若草町一の一二九矢島(二四三)

求貸家 西大門外西小門外方面なる四五十圓の韓人家屋にて安價にて貸受けたし 氏名在社(二四七)

廣告



美術書畫 襖、壁、天井張 京城壽町一丁目 桂萬吉

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス) 京城旭町一丁目六十七番戶

辯護士 岡田榮 (電話三九八番)

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓

東京火災海上運送保險株式會社

京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

貨物運送取扱 危險擔保附運送 税關貨物取扱 品代金付貨物運送 貨物引換證發行

內國通運株式會社

京城支店 京城南大門驛前 電話七〇八番

仁川出張所 仁川驛前 電話五一二番

釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 電話六一六番 草梁驛前 電話九三七番

龍山派出所 龍山驛構內 電話二〇六番

待合 醉月

京城旭町二丁目 名古屋城横

●廢物利用●

一金口莨空箱買入れ申候 但百本入に限る

京城本町四丁目 上等金口トルコ莨發賣所 パ子リス商會

營業科目

活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 帳簿 製本裝釘

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ場所ニ於テ營業致候間倍舊御引立ノ程奉願上候也

日韓印刷株式會社

本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番)

東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戶橫小路(元花屋跡) かめ屋

▲懇切の下宿▼

焦心單志多年爲斯道雖於徹議奥旨恍然似有得者匪堅推臆斷敢茫洋辭禽酒膳楽而輕業也

易斷觀 相敎授 通信判斷 一件 圓特別一圓

京城本町五丁目 三二館

●賣家●

龍山旭橋通り

一、瓦二階及平屋 取まぜ三十三坪 間數十四造作付

外に空地あり 但旅館用道具共一切御相談に應ず

右賣却す望の方は御來談被下度候

龍山丸万旅館

東京流 待合 席貸 電話一〇五番

開業廣告

今般左記の所に於て業務を開始し懇切且つ迅速を旨とし事務取扱可致候條御用命を蒙り度伏て奉懇願候敬白

一 登記及韓城法廷手續

一 諸願屆及裁判所提出書類代書

一 定款規約の起案

一 從權取立代辨

一 土地家屋賣買並諸證券其他金錢貸借諸般の仲介

一 土地建物鑑定測量

京城旭町貳丁目百六十二番戶理事廳橫通り 金子專一 電話(取次)七八九番

松岡醫院 南山町二丁目 植村病院跡 電話六七五番 (入院隨意)

九州セメント 上等生石灰販賣 京城南山町一丁目 電話三四四番 山村商店

龍山元町一丁目 電話三四八番 中村運送店

新荷着廣告

歐州各國帝室御用品 品質優等、意匠艶麗

G.D.印トルコ金口煙草(百本入 十本入)

外各種 百本入、二十本入、十本入とも右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候

追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候

直輸入元 仁川本町一丁目 トルコ煙草商會 電話(七一五番)

龍山 東山の手柳町 萬玄旅館 電話四〇〇番

開業御披露

巴壽し 並に折詰御好次第 京城壽町一丁目

巴すし

(電話一〇一七番)

特約販賣自製

漬物 味噌 醬油 製造元

大上商店

京城本町五丁目 (電話二五一番)

和洋酒、回精酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣

尚御望に依り商品切手調進仕候

株式會社 第一銀行韓國總支店

電話番號 長第一一番 國庫部、發行部、營業課、當直用 第三三一番 國庫部、發行部、營業課用 第六三一番 支配人、調査部、文書課用 第三三二番 用度係、分析所用 臨時建築部用

本店 東京市日本橋區兜町

內地支店 大阪、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、京都、大阪西區、東京新大阪町

出張所 伏見

韓國支店 仁川、釜山、木浦、群山、大邱、元山、鎭南浦、平壤、開城、城津、咸興、馬山、鏡城

出張所

清國出張所 安東縣

右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

諸傘 印入並に提灯類 和洋蠟燭あり 京城明治町一丁目 大島商店

◎氣候變化=牛乳 ◎牛乳=純良=消毒

韓國畜産株式會社 南大門外(電話八八番)

★株式會社百三十銀行韓國總支店 京城本町二丁目十五番戶 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七尾、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、柳井、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、周山

南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、讃州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、松山、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌、

台灣 臺北、臺南、

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、群山、大邱、安東縣、晋州、馬山、

銀行一般の業務精々便利取扱申可候

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 五月九日午後三時出帆

●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 五月二十七日正午出帆

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 五月二十五日前五時出帆

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 五月十三日正午出帆

●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 五月二十六日

御注意 御乘船ノ際ハ税關棧橋ヨリ本船迄御送迎艀ノ手配致可申候

●新聞料 一部金三錢 一ヶ月金七十錢 六ヶ月金四圓 一ヶ年金八圓

●廣告料 五號活字十九字詰一行一回金二十錢

發行人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太

發行所 京城新報社 電話六六三番